

Growing

Vol.31
**March
2015**

毎月10日発行

【今福教室】城東区今福西2-9-20 TEL.06-6934-4662
 【諸口教室】鶴見区諸口4-14-9-1F TEL.06-6912-3984
 【今津教室】鶴見区今津南1-6-2-1F TEL.06-6167-9722

【今福第2教室】城東区今福西2-16-8 TEL.06-6931-2000
 【関目教室】城東区関目4-16-17-2F・3F TEL.06-6934-8117
 【古市教室】城東区古市3-21-8 TEL.06-6931-0467

いよいよ新学年がスタートしました。うれしいことに今年もたくさんの新入生を迎えることができ、外はまだ寒いですが、教室はすごい熱気です。子供達の元気に負けないよう、また、逆に子供達に元気を与える指導ができるよう、スタッフ一同、精一杯頑張りたいと思います。

公立後期入試まであとわずか。私立合格者と公立前期合格者が抜けた空席が目立つ教室で、後期日程の生徒達が頑張っています。彼らは、進路が決まり楽しそうな友人達を横目に頑張らなければなりません。「もう疲れたし、私立も合格しているし……」ここからはそんな自分の弱さとの戦いです。去年の春から思い続けていた第一志望はどこなのか？入試を飛行機のフライトに例えるなら、第一志望は目的地です。いくら目的地に近づいても、最後の着陸を失敗すると……。最後の最後まで、自分より楽しそうな周りの人、自分より内申点のいい周りの人、自分より偏差値の高い周りの人を見ず、自分の足元とその着実な歩みだけを意識して、一日一日を握りしめるようにがんばって下さい。

今年度より、東京都の都立高校では国際バカロレア(世界共通の大学入試資格とそれにつながる小・中・高校生の教育プログラム)のコースの募集がスタートしました。政府は「2018(平成30)年までに国際バカロレア認定校を200校ま

で増やす」との方針を打ち出しています。また、先日「道徳の平成30年の教科化を目指す」というニュースが発表されました。道徳が教科化される背景には、多発するいじめ問題の防止などの意図ももちろんあると思いますが、これからの国際社会の中で、子供達に、日本人としてのアイデンティティーを持ち、様々な国の人々とよりよく生きられる人格を身に付けさせようという考えがあるように思います。

「国際化っていても……」と、まだ皆さんの中にはピンとこない人もいるかもしれませんが、大企業ではすでに、社内公用語を英語にし、人材を日本のみでなく世界から求めています。そして、そのような世界の流れに乗り遅れまいと日本でも冒頭で触れたような教育改革を行っています。

国際化はもう、みなさんの目の前の問題です。もし、みんなが世界に出ていくとして、どのような力が必要なのでしょう？

もちろん、英語は必要ですね。でも、本当に必要なのは、言葉も含めて、その環境に適応する力だと思います。

環境への適応には、その場に応じて物事を理解する力や、論理的に考える力、新しいことを覚える力、そして、失敗してもクヨクヨしない明るく強い気持ちも



必要です。

先生はこのような力を育てるすべての要素は、学校生活をはじめとする暮らしの中に含まれていると思います。勉強に、クラブに、友達関係に、手を抜かず思いっきり頑張る中で、これらの力は育ってきます。

先日、ある方が講演会で、「悩んだり、落ち込んだりすることは素晴らしいことだ。なぜならそこには『こうなりたい』という、理想の自分があり、そのギャップに悩んでいるからだ」とおっしゃっていました。「悩むこと」も素晴らしい勉強の一つなわけです。

カイチの子供達は、本当に子供らしく元気な子ばかりです(先日、見学に来られた先生が「昭和の塾みたい」とおっしゃっていました)。これからもっと元気に、学習も、遊びも思いっきり頑張ってください。そのエネルギーこそが子供らしさであり、大人がみんなから学ばなければならない姿勢なのだと思います。

(塾長 高木)



～今月の話題～

新年度が始まりました!

教室レポート

楽しく賑やかに！今福珠算部の新年度



卒業のシーズンがやって来ました。必死に勉強をし、受験を終えた中学3年生の生徒達は、学校だけではなく、カイチからも卒業していきます。珠算やパスカルから来てくれている生徒は、合計11年間カイチで過ごしたことになります。これまでの人生の半分以上をカイチで過ごしていた生徒達の卒業は、その成長を嬉しく思う半面、寂しさも一杯です。

さて、最近の今福の珠算部ですが、新入生がたくさん入ってきて、てんやわんやの日々です。低学年の子供達は真っ白なキャンバスと同じです。そこに1から描き込んでいく私たちの仕事の責任はとても重いもので、珠算の入門クラスでは、一人ひとり先生が目を行き届かせ、指導

するのに大変神経を使います。

現在入門クラスを支えてくれている先生の一人に、後藤先生がいます。物腰が本当に柔らかくて、生徒一人ひとりに親切丁寧に教えてくれる優しい先生です。生徒が困っていればすぐに駆けつけ、指導してくれます。入門クラスでは、毎回息抜きとして、頭を使ったゲームの時間を設けています。同じことを毎回している、生徒達はすぐにあきてしまいますし、単純に楽しむことが目的ではなく、そろばん指導に活かせるような脳を刺激するゲームを行うことには、本当に日々頭を悩まされます。そんな私をすぐに助けてくれるのが、この後藤先生です。さすが、お子さんを育てたお母さんです。子供達を喜ばせながら、頭を使うゲームを毎回教えてくれます。もちろん、入門以外のクラスにも力を入れて指導は行っております。ベテランの辻本先生に、船



木先生の力を借りて、進級の遅れが出ていないか、困っている生徒はいないかなど、毎週ミーティングを行い、気になる生徒はピックアップし、集中的に指導をするようにしています。

今福珠算部は新年度を迎え、悪戦苦闘しながらも、楽しく、賑やかに過ごしています。私自身も生徒の能力を最大限に引き出す指導が出来るように、日々研鑽を積んでいきたいと思えます。

(熊谷 周)

カイチの教育

ガンバレ！公立後期入試



まずは私立専願の受験生の皆さん、公立前期試験で合格した皆さん、おめでとうございませう。1年間本当によく頑張ってくれました。高校生になってもこの1年の努力を忘れず、勉強にクラブにと頑張ってください。本当にお疲れ様でした。

公立後期受験の皆さんは本当のラストスパート。「絶対に合格を掴み取る」という気持ちで最後の1分1秒まで頑張らしましょう。受験当日まで学力は伸びます。全員が合格できるように先生達も全力でサポートします。

今年度の私立入試ですが、傾向としましては専願で受験した生徒が受験生の20%ほどとなり、昨年度とほぼ同じ数字となりました(カイチでは中3生135名中40名と、約30%の生徒が専

願受験となりました)。やはり今年も昨年までと同様、大学進学率の高い学校(大阪桐蔭等)や大学併設校(関大系列、近大附属、常翔学園)などが人気を集め、来年度以降もこの傾向は続くものと思われます。

カイチでは学校の実力テストのデータや進研模試、五ツ木模試のデータを元に生徒本人やご家庭の希望に沿う形で進路を決めていきますが、上記のような学校を受験される生徒達が多かったです。

公立後期試験は半数以上の生徒が受験する、本当に最後の最後のテストです。一昨年、昨年と競争率が平均で1.25倍。ピンと来ない数字かも知れませんが、6人受ければ1人は不合格という厳しい倍率です。しかも、これは平均で旭高校や寝屋川高校、四條畷、大手前などの人気校は1.5倍を超える倍率で、3人受けて1人は不合格という厳しい試験です。今年も1月の進路希望調査を見ていると

この傾向は続くと思われます。

後期試験までの過ごし方については先月号で岡本先生が伝えている通りですが、過去問を覚えこむぐらいやって下さい。目安は何年度を解いても、正答率を90%以上にすることです。過去問は一度出た問題なので、解く意味がないなんてことはありません。過去問は言わば、作成者から「こういう傾向で出題するから、しっかり練習しておくように」と皆さんに毎年伝えてくれているもの。ですから、しっかりと取り組んで下さい。

この1年間、しんどくて、逃げ出したくなる時もあったと思います。先生の前で何人もの受験生が涙を流していました。本当によく頑張ってきました。だから、あと数日。最後の力を振り絞って頑張らしましょう。先生達は最後までみんなを全力でサポートしていきます。(小田)

新しい先生
紹介!

はじめまして。2月よりカイチで勤めることになった山本といいます。よろしくお願いします。

カイチに勤める以前も塾講師をしていたので全くの未経験者ではありません。以前は主に進路指導担当として子供達の将来を決める重要な瞬間に立ち会ってきました。ちょうどこの2月から3月にかけては私立高校受験、公立高校受験と試験本番を迎える時期です。カイチの受験生が各々の志望校に無事合格してくれることを願っています。

僕自身はカイチの子供達に「ブレないこと」を伝えていけたらと思っています。

もう少し具体的に言うと「僕は、私は、〇〇がいいと思っているからこの高校に行きたい」「次のテストで得意(苦手)な科目は絶対〇〇点取る!」というような思いをできるだけ早く意識してもらえるように取り組みたいと考えています。そのためにとにかく目の前のことを一つひとつ完璧にしようと思ってほしいのです。日々の塾での授業もそうですが、学校の授業もしっかり受け、学校の大きなテストだけでなく、小テストや診断テスト、模試など、自分の現在の力を試されるものには常にきちんと努力して臨んでほしい。その毎日、毎日のことをブレずに続けることができれば自然に道はできているものです。受験という一つの大きな山を乗り越えたあとに見える景色

がどんなものであるかは人それぞれです。ですが、その過程で自分に厳しく、前向きに取り組めた子供達にはその経験を通じて、これから現れるさまざまな山にも臆することなく、努力を惜しむことなく進んでいってくれるものと信じています。

最後に、カイチにきて、カイチの生徒が元気になるよう僕自身も一生懸命頑張ります。みなさんもつられて一生懸命になってくれたらうれしいですね。(山本)



カイチの思い出



私事ですが、今年度の受験生の指導をもちまして、開智総合学院を退職することとなりました。これまで会社経営をしてきた私の父が、最近になり大病を患い、経営を維持することが困難となったため、私が引き継ぐことになったのです。

今まで通塾いただいた生徒・保護者の皆様には、ご迷惑をお掛けすることになり大変申し訳ございません。

私は、大学卒業後に自衛隊に入隊し、その後すぐにカイチでお世話になりました。カイチという塾は大人として、先生として、どう振舞うかというよりも、ただただ生徒に真正面から向き合うことを求められる、今の時代では珍しい塾なのかもしれません。そのおかげか、社会の右も左も分からなかった中、生徒の成績を伸ばすことだけに集中して指導に当たられたように思います。

暖かく見守っていただいた関目教室の生徒・保護者の皆様には本当にお礼を申し上げます。

生徒の皆様へ。この開智という塾でみんなと一緒に勉強に向かう中で、指導する立場ではありましたが、共に悩み、苦しみ、学んだことが何よりの思い出です。君達は日々の勉強、受験という一大イベントを前に必死で走っているのが気付かないかもしれませんが、私の立場で見ていると本当に想像を超えるスピードで急成長する瞬間があります。人間の可能性というものを皆さんの指導を通して学ぶことができました。皆さんはまだまだ可能性の塊です。しかし、あくまでも可能性です。それを花開かせることができるかどうかは自分次第です。これまでの学習指導を通して私が得た、必ず成功する人間の秘訣を最後にお伝えします。それは「素直」であるということです。自分がどんな土壇場の状況であっても、誰の意見であっても飲み込むことができる。周囲に対して心が常に開放されている。

その上で取捨選択ができる。要は横綱相撲が取れる人です。これは自分に確固たる自信が無ければできません。カイチの生徒は塾の風土からか、みんな等しく根は素直です。しかし、受験や日々の勉強、学校での生活など、外からの圧力により素直さは時として捻じ曲がってしまうことがあります。どうか開智のみんなは、自分の信念を持って「素直」な人間であってください。大人になったとき、それが何より自分を助けてくれることになります。私自身、この年になってもまだまだ理想通りにはなれず、壁にぶつかってばかりですが、常にそういう人間であればと願っています。

これからも引き続き、自分の夢、目標に向かって走り続けてください。小田先生を始め素晴らしい先生方が皆さんのサポートに当たってくれます。

最後に重ねて生徒・保護者の皆様にはお礼を申し上げます。今までお世話になり本当にありがとうございました。(木本)

カイチからの
お知らせ

- 3月15日(日)は、新中学3年生を対象に入試説明会を実施します。
- 3月16日(月)は公立後期日程試験です。受験生の皆さん頑張って下さい。
- 3月23日(月)は公立後期入試合格発表日です。
- 3月24日(火)～3月30日(月)は春期休塾日です。
- 3月31日(火)より春期講習会スタートです。

EDUCATION

学習のコツ

新学年の心構えと学習法



新学年が始まりました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。

私が、このグロウイングの記事を書いているのは2

月の半ばで、私立高校の合格発表に連日ドキドキしております。月日が流れるのは早いもので、毎年この時期になると「もう一年経ったのか」といつも感じております。

さて、新学年に向けて、皆さんに知っておいていただきたいことをいくつかお話しします。

<一年後の自分を想像してみよう>

新中学3年生は「〇〇高校に受かっている自分」。新中学1・2年生は「通知表で〇〇取っている自分」や「部活と勉強を両立している自分」。小学生のみんなは「診断テストで、貼り出しに載っている自分」などの、一年後の自分を想像をしてみてください。そしてそれを紙に書き、机の前に貼っておきましょう！「初志貫徹」です。一年後にそうなっているように努力しましょう。

<×を○にする勉強法とは>

さて、学習の仕方に移りましょう。

先生はよく「どんな勉強法がいいのですか？」と聞かれます。簡単なことです。

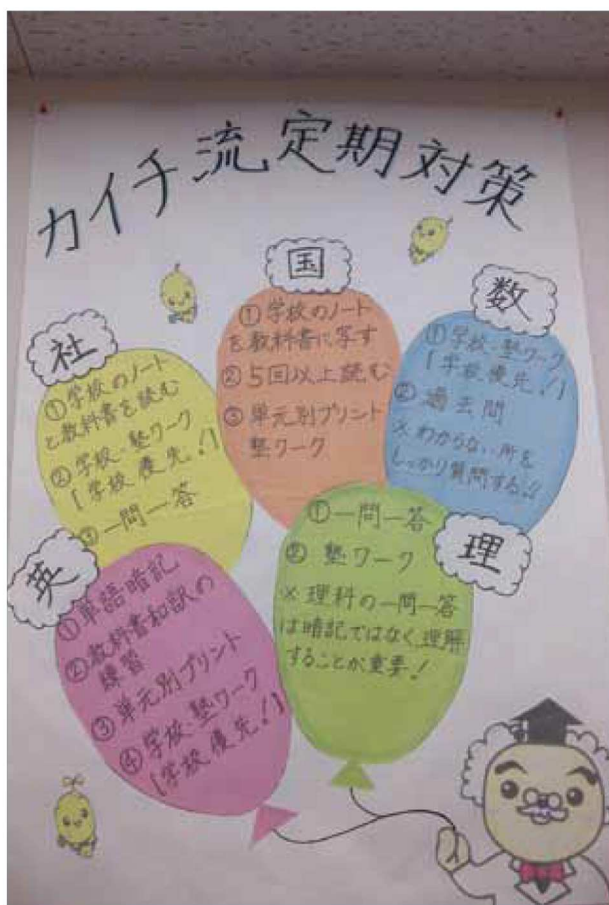
いい勉強法とは、「×を○にする」こと……つまり、「分からなかったことを、分かることに変える」。それだけです。

そして、×を○にする時に、どうあるかが大切です。

1. まずは、もう一度考えてみる。
2. それでも分からない問題を教科書・ノートを見ながら調べて考える。
3. 調べても分からない問題を、先生に質問する。

以上の3つを実践しましょう。分かった気になるのが一番いけません。少しでも疑問があれば、必ず質問しましょう。

これは、余談ですが、私は受験生のころ、授業用のノートとは別に、メモ用のノートを持っていました。科目は関係なく、その1冊だけをメモ専用としていました。授業を受けていたり、問題を解いて答え合わせをしているときには、必ず「疑問点」が出てくるものです。その疑問点を、メモ用ノートにさっと書いておくのです（あとで、それをきっちり調べていました）。



5科目それぞれに1冊ずつのメモを用意しているのは、ノートがバラバラでやりにくいので、メモ用は1冊だけにしていました。この1冊のメモ用ノートに、勉強における自分の弱点が収まっているわけですから、あとで見直すことで、自分の弱い部分を再確認することができるのです。よかったら参考にしてください。

(岡本)

